

主な内容

- 第5回市議会臨時会
- 上半期財政公表
- 同和対策推進強調旬間

●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/森重印刷株式会社

市民交通災害共済受付中

毎月15日は、お年寄りの交通安全日
思いやりみんなですすめる交通安全
交通事故状況〈10月〉

- 発生件数 78 (累計 636 / 前年比+35)
- 死亡者 1 (累計 9 / 前年比-1)
- 負傷者 85 (累計 685 / 前年比+31)



子どもたちと留学生が楽しく交流

秋晴れの11月5日、鑄銭司子ども会国際交流が行われました。地区の子どもや市内の留学生など約130人が参加。郷土史家・内田伸さんの案内で大村益次郎生誕地や長沢の池、大村神社などを歩きました。特設のステージで益次郎の寸劇を見物。途中のたんぼで明治時代の大豆の取りいれ風景の寸劇(写真)や子どもの遊びを再現、子どもたちと留学生もすぐ仲良くなり、楽しい一日を過ごしました。

11/15
1995年No.1160

■市報やまぐちは再生紙を使用しています。
(上段は、平成7年11月1日現在、下段は今年1月1日との比較)



135,515人
+1,127人



65,009人
+457人



70,506人
+670人



51,261
+987

平成7年第5回市議会臨時会 一般会計補正予算案など 4議案を可決

平成七年第五回市議会臨時会が、十月三十日開かれ、一の坂川マンション建設予定地の購入費を含む一般会計補正予算案など四議案が全会一致で可決されました。

●予算

一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ十億七千七百二十余万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ四百八億九千五百三十余万円としました。

このうち、一の坂川マンション建設予定地（約六百三十平方メートル）の用地取得事業として計上されたのは八百九十八万五千円です。内訳は不動産購入費七千八百二十二万円、設計費などの建築準備に対する補償金一千八百三万円。

このマンション建設予定地の購入については、去る六月、



地元関係団体から土地の買取りおよび公共利用を内容とする陳情を受け、景観行政の推進の観点から、関係者と交渉してきました。その結果、この度、土地の取得等について合意に至りましたので、土地を購入することになりました。

購入した土地は当面、イベント会場やC・S赤れんがの

青年会議所より姉妹JIC締結に関する要望書が届くなど、お互いに姉妹締結を希望することから、今回、調印することになったものです。

山口青年会議所と 公州青年会議所が姉妹締結

山口青年会議所と 公州青年会議所が姉妹締結

山口青年会議所では、韓国・公州市（山口市と姉妹都市）の公州青年会議所と、一昨年からお互いの都市を訪問しあうなど、交流を深めてこられました。そして、公州

梅林義彦理事長は「これからは、国際的活動が増えていきます。そういう時に締結したら、お互いの国際的窓口、橋渡しというか、手助けにな

交流だけでなく、子どもたちや市民の皆さんの国際交流の助けにもなることと思います。これからがスタートです」と話されました。



「山口青年会議所 創立四十周年記念誕生祭」と同時に行われた「姉妹締結調印式」

駐車場などに使える多目的の広場として利用していきます。

特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ八億三千万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ五十八億二千八百七十余万円としました。

農業集落排水事業

特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ四億二千八百二十余万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ十三億三千二百余万円としました。

●事件議決

山口市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の一部を変更

秋の叙勲・褒章

山口市から十人が受章

平成七年秋の叙勲・褒章に市内から次の方々が受章されました。国や地域、業界などのためにそれぞれの分野で長年にわたって活躍され、その功績が認められた方々です。おめでとうございます。

（一）内は年齢、住所、功労概要、主要経歴です。敬称略。

秋の叙勲

全国で四千五百四十一人、県内在住七十四人、市内からは九人の方が受章の栄誉に輝かれました。

（勲三等瑞宝章）

木脇祐順（74・吉敷・教育研究功労・山口大学名誉教授）

水野文雄（76・若宮町・消防功労、産業振興功労・元山口市消防団団長、元山口商工会議所会頭）

（勲四等瑞宝章）

佐崎村雄（70・泉都町・地方自治功労・元山口県議会議務局長）

津田正人（70・大内・地方自治功労・元山口県東京事務所長）

（勲五等双光旭日章）

市山春夫（76・錦町・警察功労・元警視長）

（藍綬褒章）

馬渡淳一郎（57・吉敷・労働行政功績・元山口県地方労働委員会委員）

（勲七等瑞宝章）

岡本光雄（70・吉敷・矯正業務功労・元山口刑務所副看守長）

（勲七等瑞宝章）

弘中正（73・宮野・警察功労・元山口県警部補）

田原 暁（74・後河原・学校保健功労・現学校医）

（勲七等青色桐葉章）

梅林義生（70・湯田温泉六・観光事業振興功労・現（社）国際観光旅館連盟常務理事）

（勲五等瑞宝章）

田原 暁（74・後河原・学校保健功労・現学校医）

（勲七等青色桐葉章）

（勲七等瑞宝章）

秋の褒章

全国で七百六十二人、県内在住八人、市内からは一人の方が受章の栄誉に輝かれました。

（藍綬褒章）

馬渡淳一郎（57・吉敷・労働行政功績・元山口県地方労働委員会委員）

（勲七等瑞宝章）

（勲七等瑞宝章）

（勲七等瑞宝章）

（勲七等瑞宝章）

（勲七等瑞宝章）

平成7年度上半期 財政公表

教育施設の 整備など着実に進む

市の予算が、どのように執行されているかを皆さんにお知らせするため、平成7年度上半期(四月一日〜九月三十日)の財政状況を公表します。

一般会計

一般会計は当初三百九十三億円でスタートしましたが、その後、五億千八百八十万円の追加補正を行い、九月末現在で総額三百九十八億千八百八十万円となっています。

補正の主な内容は、嘉川小学校屋内運動場の増改築工事に二億七千九百四十三万円、耐震性防火水槽の新設工事に七千九百四十二万円、七月の降雨による災害の復旧費に四千三百五十八万円、休日夜間急病診療所の非常用自家発電設備工事に二千六百万円などです。

九月末現在の一般会計の歳入歳出状況は表のとおりで、収入済率三八・一%、支出済率三二・八%となっています。

また、上半期に実施または着手した事業のうち、主なものは次のとおりです。
☆学校教育の充実

特別会計の収支状況(9月末現在・単位:万円)

会計	予算現額	収入済額	支出済額	支出済率(%)
国民健康保険	694,294	259,544	241,718	34.8
老人保健	1,153,107	465,800	494,181	42.9
同和対策資金貸付事業	15,206	5,980	1,111	7.3
食肉センター	2,376	21	737	31.0
下水道事業	499,878	49,653	136,686	27.3
土地取得事業	244,898	119,000	121,203	49.5
駐車場事業	3,635	1,691	1,421	39.1
農業集落排水	105,720	1,005	8,837	8.4
特別林野	3,160	1,268	693	21.9
合計	2,722,274	903,962	1,006,587	37.0

(収入済額が支出済額を下回っているのは、会計間の融通と一時借入れによって処理しています)

市有財産現在高

区分	9月末現在高
土地	2,766,679.85 m ²
建物	298,250.61 m ²
山林	6,491.97 ha
立木	812,790 m ³
有価証券	8,360万円
出資による権利	58,388万円
債権	(土地) 3,104.09 m ²
債券	187,009万円
現金	104,416万円
基金	9,630.57 m ²

市債現在高(単位:万円)

区分	9月末現在高
一般会計	3,396,482
特別会計	1,971,877
合計	5,368,359

特別会計の収支状況は表のとおりです。市有財産、市債の九月末現在高は表のとおりです。

特別会計

☆生活基盤の整備
生活道路、公園、市営住宅の整備事業、廃棄物の減量・再利用対策など
☆長寿社会対策、福祉の充実
在宅介護支援センター、ホームヘルプサービス事業、デイサービス事業、ショートステイ事業など
☆農林業の振興
(仮称)林業研修センター

の建設、カントリエレベーターの建設(八月完成)など
☆工業の振興
山口テクノパークへの企業誘致、鋳造司団地の建設(九月全区画分譲開始)など

一般会計の収支状況(9月末現在)

歳入項目	入		歳出項目	出	
	予算現額(万円)	収入済率(%)		予算現額(万円)	支出済率(%)
市税	1,692,827	53.3	議会費	35,102	46.1
地方譲与税	96,900	26.5	総務費	564,894	36.9
利子割交付金	40,000	51.5	民生費	706,230	35.7
ゴルフ場利用税交付金	6,000	35.2	衛生費	439,095	38.3
自動車取得税交付金	33,500	36.9	労働費	13,773	52.4
地方交付税	512,000	60.9	農林水産費	230,451	23.8
分租金および負担金	54,703	39.2	商工費	137,708	51.8
使用料および手数料	47,034	55.3	土木費	702,104	14.2
国庫支出金	376,541	16.1	消防費	112,426	51.8
県支出金	230,205	21.8	教育費	633,860	31.3
財産収入	39,203	86.8	災害復旧費	18,828	0.9
寄附金	2,901	8.2	公債費	385,807	38.8
繰入金	148,522	0.0	諸支出金	30,000	100.0
市債	535,680	0.1	予備費	4,278	0.0
その他	198,540	31.2			
合計	4,014,556	38.1	合計	4,014,556	32.8

※歳入歳出予算現額には、繰越額32,748万円を含んでいます



山口富美子さん

山口さんが消防功労者自治大臣表彰を受賞

平成7年度消防功労者自治大臣表彰を山口富美子・県消防クラブ連合会婦人消防部会長が受賞されました。山口さんは、昭和五十一年、白石婦人防火クラブ会長に就任以来、市婦人防火クラブ連

合会会長、同副会長、今年六月からは、日本防火協会中国支部理事などを歴任され、婦人防火クラブのリーダーとして地域に根ざした防火活動に大きく貢献されたものです。「受賞したのは皆さんのおかげ。家庭から火を出さないよう、これからも婦人会員の皆さんと防火知識を学んでいきたいですね」と話しておられました。



仲正夫さん



木村洋太郎さん

木村さん、仲さんが厚生大臣表彰を受賞

平成7年度厚生大臣表彰(環境衛生功労者)を木村洋太郎・県旅館環境衛生同業組合副理事長と仲正夫・県飲食業環境衛生同業組合副理事長の二人が受賞されました。木村さんは昭和三十七年湯田温泉旅館協同組合理事に就任、四十五年に山口県旅館環境衛生同業組合青年部を結成。

初代青年部長として業界の若い力を結集し、環境衛生経営の近代化に取り組み業界の発展に貢献されたものです。「組合員のおかげで受賞したものは代表して受けただけ。湯田温泉にたくさんのお客さんを誘致することが必要」と話しておられました。仲さんは昭和四十一年県飲食業環境衛生同業組合設立にあたり草創期の湯田支部設立に尽力、翌四十二年理事に選任され、支部組織の拡充に努め、今日の湯田支部の基盤を確立されたものです。「受賞できたのは組合員の皆さんのおかげと感謝しています。受賞を機に後継者を育てたい」と話しておられました。

人として生きる願いをたいせつに ぐどもたちからのメッセージ

同和对策推進強調旬間にちなんだ山口県・山口市で同和問題に関する詩・感想文(小学生)・啓発スローガン、ポスター(中学生)を募集しましたところ多数の応募がありました。その作品の一部を紹介します。

詩 市特選 小学校

陶小五年 和田直子



同じじゃなくちゃ だめ?

どうして 言葉がおかしいって笑うの?
どうして とび箱が飛べないからってからかうの?
できないから みんなに教えてほしいのに
でも みんなと同じところで同じ顔して
同じおしゃべりしている
今の私

みんなと同じサイズ
同じ表情の
お面をつくって
笑顔まで おそろいにして
同じ方を向いて並んでいる
本当は みんなとは
ちよっぴりちがう私
そのちよっぴりちがうところが人間のいいところ

ちよっぴりちがう

あなたとわたし

いっしょに勉強して

いっしょに遊んで

いっしょになやんで

ああじゃないの

こうじゃないのと

あつちを向いたり

こつちを向いたり

時には、道くさんなんかしながら

いっしょに歩いて

本当の友情が生まれる

わたし・・・

みんなと同じじゃあなくつち

やだめ?

詩 市特選 中学校

湯田中三年 岡光理恵



幸せになるために

人は生まれてきた
私は生まれてきた
幸せになるために
私は生まれてきた
人を愛し人に愛されるために

人は生きている
私は生きている
美しいものに出会うために
私は生きている
人々とわかち合うために

人は歩んでいる

私は歩んでいる

希望に向かって

私は歩んでいる

自由を求めて

人は求めている

私は求めている

個人が尊重される社会を

人間らしく生活できる社会を

人々が協力し合う社会を

人の幸福を

誰もほむことは許されない

人の権利を

誰も奪うことは許されない

人は生まれてきた

私は生まれてきた

幸せになるために

私は生まれてきた

人を愛し人に愛されるために

山口市同和对策推進大会

日時 十二月一日(金) 十三時三十分

場所 山口南総合センター

講演 講師 大谷昭宏先生

演題「開け心が窓ならば」

皆さんのご参加をお待ち

しています。

感想文 市特選 小学校

湯田小六年 古谷夏子



「そうじの班長」を読んで

私は、自分がこの話のよう
な場面に出会ったら、きっと
主人公のように班長に注意す
ることはできないと思います。
なぐられることを覚悟で下級
生のために注意した主人公は
真剣に人のことを思いやるや
さしい心の持ち主なのだと思
います。私は、そんな勇氣は
ないかもしれませんが、せめて
下級生の味方になってあげ
たいと思います。

先日、私もこの話に似たで
き事に出会い、注意できなく
てむなしい気持ちになったこ
とがあります。ある日の放課
後、私の班は日直の日で教室
に残っていました。私以外の
女子は、「用事がある。」とい
って帰りました。私と男子二人の三
人だけでした。私が仕事が終
わって帰ろうとしたときのこ
と、男子二人が悪ふざけをは
じめたのです。最初のうちは、
すぐにおさまるだろうと見て
いたのですが、だんだん激し
くなっていきました。最後は、物
の投げ合いになっていったの

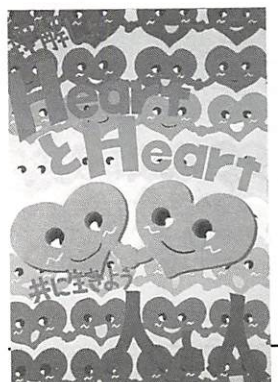
です。私はこのままではいけ
ないと思ったのですが、相手
がらんぼうな子だったので、
なかなか注意できず、その場
でだまって見ていたのです。
私が「いつまで続くのだろう。」
と思ったとき、片方の男子の
手が花びんに当たり、花びん
が割れました。私があの時注
意していれば、花びんは割れ
ずにすんだのに・・・。そう
思うと、自分が花びんを割つ
たような気持ちになり、ああ
どんな子にでも注意できるよ
うな強い心がほしいなと思
いました。

最近、いじめが大きな問題
になっていきます。時々、いじ
められる方にも原因があると
いわれることがあります。私
は、私たちが悪いのですが、
私には何が悪いと思います。私
は実際にいじめられたことがあ
り、その時の自分ではどうす
ることもできない気持ちがあ
ることもできない気持ちがあ
るかわかるのです。四月に転校
してきたその日から、転校生
ということでしょいか、ちょ
っとしたいじめが始まり、二
学期の中間ごろになると、学
校の帰り私を川に落としたり、
トイレに閉じ込めたりするほ
どひどくなっていたのです。
私を川に落としたりしたときは、
「親には自分ですべて落ちた
のだと言え。」と言うのです。
もし、先生や親に言ったら、
もっとひどくいじめると言う
のです。この時、もう私に味

方はいないと言う気持ちでし
た。この悲しさは言葉ではと
ても表せません。親にうそを
ついて学校を休みたいと何度
も思いました。そんな私の気
持ちもわからず、いじめは続
きました。そして、とうとう
私はがまんできず、勇気をふ
りしほってその人になぜいじ
めるのか聞いてみました。す
ると、理由は何となくでした。
私はそれを聞いて、私の苦し
さをわかってほしいと泣いて
訴えたい気持ちでした。いじ
める人にとってわたしは、お
となしくて何となく気に入ら
ない性格だったのでしょうか。
でも、人間は、一人ひとり性
格や感じ方が違います。友
達のいいところを見つけて相
手の心を大切にできる人にな
りたいと思います。

ポスター 市特選 中学校

湯上中三年 中野彰子



スローガン市特選 中学校
宮野中三年 有安恵美子



差別なき

心に明日の

希望(ユメ)見える

市 入選

★小学生の作品

詩 中野瞳(陶小五年) / 感想文 香川友美(大歳小六年) / 吉田麻美(大内南小六年) / 永田美幸(湯田小六年)

二十一世紀をめざして

市民の皆様の一層の理解を得て、国民的課題である同和問題を一日も早く解決するために、幼稚園、学校、地域などに活動内容を報告していただきました。

ふれあいの中で

鑄銭司幼稚園

幼稚園における同和教育は、幼児の日常生活すべてを通して行われるものです。「人とのふれあい」や「自然とのふれあい」など人間形成の基礎を培う幼児教育の具体的な場を取り組んでいます。

鑄銭司の地域の特性を生かし、「施設の人とのかわり」や「国際交流」にも同和教育の視点から取り組んでいます。聾学校のお友達やアメリカの

▽兼平優美(大内小五年) / 本永あゆ美(興進小五年)

★中学生の作品

詩 土田麻美(鴻南中二年) / 大林晴華(鴻南中三年) / 米本暁子(大内中三年) / 三輪麻衣(湯上中二年) / 啓発スローガン 浅野間愛子(仁保中三年) / 安東朋美(大内中一年) / 堀口涼子(湯上中三年) / 高見一男(大殿中二年) / ポスター 海地信恵(湯上中三年) / 小田郁子(湯田中三年) / 田中郁子(平川中三年) / 田中千恵子(湯田中二年)

人との遊びの中で、「みんな同じ人間」という気持ちのもとに、「思いやる心」「いたわりあう心」「自分を表現する心」などの豊かな心が育つことを願っています。



認め合い支え合う
子供の育成を目指して
大内南小学校
(今年度研究指定校)



「学校へ行くのがとても好きです。なぜかというところ、多くの友だちがいるからです。」これは、三年生の作文の一部ですが、どの子も同様の気持ちで日々登校してきて欲しいものです。

開校して三年目を迎えた本校では、いま輝かしい伝統や校風づくりに懸命に取り組んでいます。そのためにもお互いの人権を尊重し、相手を思いやる優しくたくましい人間づくりが第一と考えています。そのことを、家庭や地域との連携を図りながら推進していくことが大切です。

認め合い支え合う

集団づくり

大殿中学校

(今年度研究指定校)

自ら考え意欲的に活動する生徒の育成のため、「認め合い支え合う集団づくり」が本校の研修の目標です。教員は授

業研究部と資料開発部のいずれかに所属して研修を重ねています。

同和教育の資料という目で新聞を見ると参考になる記事が多く、それらを利用して教員間の情報交換と共通理解のために、「同和教育だより」を発行しています。

六月に講師を招き、同和教育の現状を知る機会を持つことができ、九月末には新しい同和教育資料を使った道徳で校内授業研究会を実施しました。現在、十一月十八日の保護者同和教育の準備中です。



自分ならどう答えるか

野田学園高等学校

憲法が「国民の不断の努力」によって保持することを求めている自由と権利を守るうえで同和教育は不可欠です。本校は「生徒の抱えている人権問題に即してまず取り組むべき問題」をその中心に据えています。九月から十月にかけて同和教育が集中的に行われます。同和教育映画上映。生徒の主題への感想、意見をもとにした話し合い。学年別に設

定されたテーマをめぐる授業等です。教員間の同和問題に対する共通理解を深める研修もこの時期実施します。本年は、高校生から実際に出された疑問に自分ならどう答えるかというアンケートを材料にした研修にする予定です。



指定地区での同和教育

小鯖地区

小鯖地区人権学習推進協議会は、山口市で十一番目の組織として発足しました。当初は戸惑いましたが、市の指導を受けながら他地区との交流会や講習会に参加をしたり、協議会を重ねたりするうちに、初めは寝た子を起す必要もないのではといった意見もありましたが、未だに残るこだわりとか心の奥の誤った差別意識を正す事こそが同和問題の解消へとつながると考えます。「人として生きる願いを大切に」は基本的人権の尊重ですが、「人として生まれたこと」の尊厳「何十億分の一の確率で現在ある私たち、人として」の尊厳を一度真剣に考えて願

みる必要もあるのではないのでしょうか！



平川地区

紆余曲折を経て、平川地区人権学習推進協議会は発足したばかりです。

家庭・学校・推進協議会が一体となり、地域ぐるみで人権問題の学習に取り組む、「人として生きる願いを大切に」をめざす学園都市づくりを目標としています。目標達成には、無理なく、むらなく長期展望に立った息の長い地道な実践をと考えています。

具体的な活動としては、講話、ビデオ学習、小・中学生へ作文募集などの方法を取り入れて学習を進めていきます。年度末には推進大会を開催し、一年を締めくくります。



人として生きる願いをたいせつに 学校・地域から

山口県指定無形文化財

山口

今年も 太郎冠者の 四曲



言狂流鷺

定期公演

平成7年11月25日（土）
13時半開場 14時開演
（終了予定16時）
山口市民会館小ホール
入場 無料



日本最初の笑いの芸術

狂言は人間讃歌

「家来である太郎冠者が日頃のうつぶるをなんとかして晴らそうとしますが、ちよつと間が抜けていたりするのでおもしろいんですね。」
山口鷺流狂言保存会技術保持者の安藤方之さんは狂言の特色を「喜劇性と庶民性」と話

清水（しみず）

野中の清水にお茶の水を汲みに行くよう命じられた太郎冠者。毎度の例になつてはと主人秘蔵の手桶を途中で投げ出し鬼が出たと作り話をします・・・

物まね（ものまね）

主人に無断の竹生嶋詣を叱

主従が川の渡しにさしかかり、太郎冠者は「フナやい」と舟をよぶ。それをきいた主人は「フネ」だととがめ、フ

舟ふな（ふねふな）

「狂言の基本は庶民の味方。殿様などの権威にはちよつと批判的で、逆に詐欺師や盗人でも真の悪人としては描いていません。日常の出来事の中で、一生懸命生きている庶民を温かい目で見ています。狂言の代表的な登場人物の太郎冠者も、機知にとび無邪気で、いたずら心や愛敬たつぷりに人生を謳歌しているという、まさに庶民の生活感覚にあふれた人物です。」

諷果（さつか）

連歌の講の当家にあつたものの、連歌に疎い主人は、太郎冠者に都の叔父を呼んで来いと使いにやります。よく確かめなかつた太郎冠者が叔父のつもりで都の詐欺師をつれて帰つたからさあ大変・・・



米本次郎くん

ナカフネか互いに古い和歌をひいて言い争う・・・
☆ ☆ ☆
古典芸能、狂言に興味をお持ちの方の入会を大歓迎します。練習は、毎週土曜日18時から二十一時まで山口ふるさと伝承総合センターで。
☆ ☆ ☆
公演や入会のお問い合わせは、市教育委員会文化課
☎20-4111まで

中原中也記念館 10万人目は守齋日美子さん（12歳・秋市） 「中也は一匹狼みたい」



十月二十二日、中原中也記念館の入館者が十万人を超えました。

十万人目となったのは、萩第一中学校一年生の守齋日美子さん。お母さんの弘美さんと一緒に初めての来館でした。福田百合子館長、中原美枝子さん（中也の弟・故中原思郎さんの妻）に出迎えられて「びっくりしました。なんだかはずかしい」と日美子さん。記念の花束と絵入り詩集「ゆあーんゆーんゆやゆよん」のプレゼントを受け「中也の詩を読んだことはありませんけど、本は大好き。今は星新一さんを読んでいます。中也は一匹狼のような人かな。今日は全体的にすっかり見て帰りたい」とうれしそうでした。入館者十万人達成となった十月二十二日は、昭和十二年に



上京の頃の中也、作品「朝の歌」の頃の中也と、その周辺を辿る企画展「中也の軌跡」は好評のうちに会期を終えようとしています。最終日十九日（日）までのご来館をお待ちしています。

亡くなった中也の命日にあたり、午後お墓に参られる予定の中原さんも「不思議な縁です」と感慨深げでした。
平成六年二月十八日のオープンから約一年八か月で十万人を達成。福田館長は「記念館を中心に中也に会いに山口に来られる方が多いのも、中也の詩の魅力や純粹な生き方が現代に息づいているからだ」と思います。また「文学館も全国的に数多く誕生しています。地方の文化の時代といわれていますが、特色のある空間の設置が大切」と中也記念館をさらに个性的で特色のある文学館にしたいと話しています。「この記念館で大いに中也を感じていただきたい」と思っています。

可能性に挑戦！ 湯田中ふれあい遠足

周防大橋往復 42.195キロ



▲午前7時30分、湯田中を元気にスタート

◆維新公園



▲きれいな楳野川。高田橋。



東津橋

中国自動車道

JR山陽本線



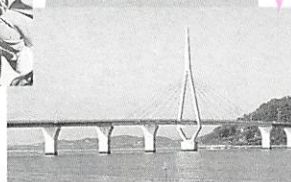
▲手に手をとって、がんばろう！

百間橋



▲周防大橋のたもとの幸崎公園でお弁当。おなかですきました。

周防大橋



◀ぜんざいとバナナとジュースでお疲れさま。認証状をみんながもらいました。午後5時56分、全員到着。



◆JR矢原駅



▲やったー、着いたー。

◆浄水センター

▼先生からあめが配られました。



遠くへ足を運ぶと書いて「遠足」。十一月二日、湯田と周防大橋（二島・佐山間）の往復四二・一九五キロメートルを歩く「ふれあい遠足」を湯田中学校が行いました。チャレンジしたのは父母、先生を含む三百八十一人。生徒は、一年生から三年生までが六十六の班に分かれ、励まし合いながら楳野川に沿って歩みを進めました。目的は、頑張り抜く力、協力する心、自然と郷土への気持ちをおこすこと。長い道のり

を歩く生徒の口からは「えらい」「足が痛い」「校長先生に迎えにきてほしい」など。しかし、学校にたどり着いたときには、充実感と喜びで心地よい疲れとなったようです。一番のりで帰ってきた班の西村亮君（三年）は「最初は楽勝と思い、走っていましたが、そのうち苦しくて歩くのも嫌になりました。今は、やりとげた感動でいっぱいです」と自らの限界に挑んだ気持ちを表しました。

丸山律さん（二年）は裸足でゴールイン。爪先が痛くなったり、まめが出来たりで、周防大橋からは素足だったとのこと。平田さんは「きつかったけど、うれしい」。楳野川もきれいでした。丸山さんは「ひとりだったら、歩けなかった」と力をふりしほり話してくれました。帰ってくる生徒を迎えながら緒方甫校長はこう話されました。「子どもが自分の可能性に挑戦するすばらしさを深く感



◆グレンプラザやまぐち



▲「オレはもう歩けな〜い」

じました。以前、「教え込む教育から、気づかせる教育へ」と教師たちに伝え、生徒たちには「自分自身を知れ」と言いました。そして、生徒会のスローガンは「可能性に挑戦」です。今、これらがすべてつながってききました。この日、とても大切なことを生徒たちは学びました。疲れきった体の底からは、新しい大きな力が生まれたことでしょう。

寄付

吉南信用金庫

嘉川支店から

十月二十三日、吉南信用金庫嘉川支店から、佐山小学校と川西中学校の教育振興に役立ててほしいと十一万円の寄付を市にいただきました。地元には何か少しでも貢献をしたいと富田実支店長。この寄付は、同金庫の地域奉仕事業基金の運用利益によるもので、平成二年から続けられています。



山本ミユキさんから

十一月二日、山本ミユキさん（徳山市在住）から、母校の陶小学校の教育振興のため、体育館の演台一式として百万円の寄付が市へありました。



モニター
短信



大好評！ 温泉ミニスライダー

十月二十一・二十二日（土・日）の二日間、湯田公民館において「ふるさとまつり」が開催されました。

このまつりで子供のための企画、そして湯田地区だからこその温泉の湯を使った「温泉プール」は今年もまた大好評で、二十一日は百人、二十二日は二百人を越す子供たちでにぎわいました。

時間になって、もうおしまいだというのに次々とやって来てプールの係の人たちが嬉しい悲鳴をあげていました。

来年も今年のようによいお天気になればいいですね。

湯田地区広報広聴モニター

内山久美子さん

グレンプラザやまぐちから 1年中新米の味



秋穂二高に八月一日完成した山口市農協のカントリーエレベーター「グレンプラザやまぐち」（穀類等乾燥調製貯蔵施設）が本格的に始動しました。

● 籾（玄米）白米
稲穂から扱いたままの米が籾。籾殻を除いたのが玄米。精米して胚芽とぬか層を除いたものが白米で、通常私たちが食べているのものです。

● グレンプラザは籾で貯蔵
米は通常玄米で貯蔵されますが、グレンプラザは籾で貯蔵。籾での貯蔵は虫やカビがつきにくく味の変質も少ないのが利点です。

また、貯蔵には米の水分や温度も大切です。グレンプラザでは、荷受けした米をいったん十七%まで一次乾燥、荷受けが終了した時点でさらに十五%まで仕上げ乾燥します。ゆっくりと乾燥することによ

つて、より天日干しに近いおいしい米として貯蔵されます。貯蔵温度も荷受けが終わった籾をいったんサイロからとり出し、冬の低温を利用して自然冷房により温度を下げて再びサイロに貯蔵します。サイロは断熱材などによって魔法ビンの役割を果たすようになっていきます。

● 今摺り米でおいしい御飯
このようにしてサイロに貯蔵された米は、需要に応じて来年の八月いっぱいまで、籾摺り、玄米検査を受け出荷されます。

● 今年の秋は終わった
グレンプラザを利用した農家の人たちは「搬入の待ち時間が短くて良かった」、「楽に

なった。もうもとは戻れない」と好評です。大切に育ててきた米を搬入し終わって「今年の秋は終わった」とほっとされています。

● 新しい農業の拠点に
柳新治山口市農協組合長は「県内では菊川町につづく一番目の施設です。今年の荷受量は一千五百トン。二、三年先には市農協の見込んでいる受益面積四百ヘクタール、荷受量二千八百五十トンを達成すると思えます。グレンプラザへの搬入で水稲の収穫の手を切って、すぐ野菜づくりにかかれます。グレンプラザをもとに営農の設計をされ、厳しい時代に対

応できる農業の拠点にしたい。そして消費者の方へは、出荷時に籾を摺る「今摺り米」で、収穫したときのままの味のおいしいお米をたくさん食べていただきたい」と語られました。



春になったら 遊びにおいて 名田島で菜の花の種まき

10月30日、名田島、山口市南総合センター近くの農地約1haで、菜の花の種まきが行われました。田園名田島きらめくふるさとづくり実行委員会（三輪正明会長）の主催で、来春の「第4回菜の花フェスティバル」の事前準備として行われたもの。3月には、菜の花が咲きそろう、黄色に美しく染まるじゅうたんが名田島を彩ることでしょう。



町内のみんなと「ふしの会館まつり」

「ふしの会館まつり」が山口隣保館とふしの会館で開催されました。11月4日の前夜祭では、杉の子学級と三和児童館のみなさんによる合奏と、十王町の方、小学校の先生、市職員などによるカラオケ大会。翌5日も、わたがし、やきとり、クレープなどのふれあい市が開かれ、楽しい一日となりました。



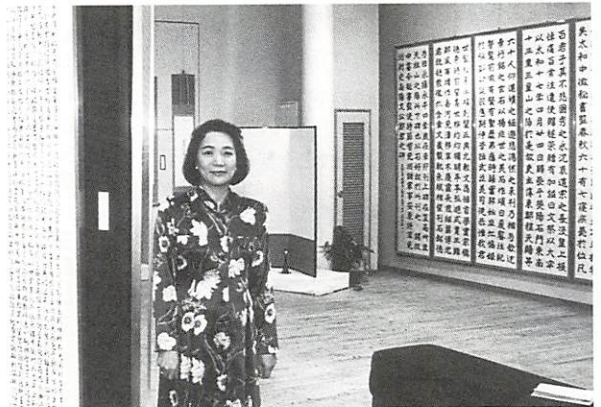
十月二十六日、山口大神宮の内宮約四十五平方メートルが全焼しました。大神宮には、昭和四十年に市が指定した有形文化財「高嶺太神宮御鎮坐伝記」がありますが、離れた宝物庫に保管していたため無事でした。来年の初詣は例年通り行えます。

山口大神宮で火事

ふるさとに舞う

小鯖代神楽

十月二十九日、小鯖八幡宮の秋祭りで小鯖三区自治会により「小鯖代神楽」が奉納されました。この神楽は市の無形民俗文化財に指定されています。今年、舞ったのは小学一年生から六十四歳の方まで。杉山輝人自治会長は「小鯖三区は特に協調性があります。地区の運動会でもいつもよい成績ですよ」と話されました。伝統をとおり、地域の輪が育まれています。



初の個展を山口で

自然・故郷・母

萩秀書画展

（十月二十四日～二十九日）

江川萩秀（しゅうしゅう）さん。横浜市、本名・迪子（みちこ）、旧姓・松岡の隣。白家中、野田学園高校を出て横浜市に就職、書画はサークル活動で始められました。一九九〇年に国際書画協会特別大賞を受賞されています。「私にとって個展は過去の集大成でなく出発です。生ま

れたところで新たな出発をしなかった」と江川さん。

「今も一の坂川沿いを歩いてきたところです。外から見るとこんな大切なものが残っているというのが良くわかります」と故郷について話されました。

昨年の日本美術院特待画家・齊藤惇展に続くC・S赤れんがの自主企画による郷土出身作家の作品展、江川さんも「同級生の人たちが本当に良く協力してくれました。チャンスをお貸しください。是非また山口で個展を」と意欲的でした。

お年寄りや子どもたちと交流

山口女子大学園祭

10月28日、山口女子大学で、女子大としては最後の学園祭「華月祭」が開かれ、各サークルの作品展、模擬店、ステージでのフラメンコ発表など、さまざまな催し物が行われました。社会福祉学部二年生は、なかなか他世代との交流が持てないことから、「シニアとヤングの宮野ふれあい交差点」を企画。地域の老人クラブの人に教わりながら、南蛮煮、けんちん汁など宮野地区に伝わる郷土料理をつくり、招待したお年寄りにふるまいました。また、昔の遊びも体験しようと、子どもたちと一緒に竹細工づくりを楽しみました。同学部二年生の村上佳代さんは「お年寄りに喜んでもらえてよかった。これをきっかけに学生と地域とのつながりが深まっていけばうれしいです」と笑顔で話されました。



労働時間短縮実践セミナー

- 日時 11月21日(火)午後1時30分～4時30分
- 場所 サンフレッシュ山口(湯田温泉五丁目5-22)
- 内容 「労働時間の短縮の進め方」や実践に向けての法律関係についてアドバイスします
- 講師 社会保険労務士(時短カウンセラー)・桑原俊夫氏、山口労働基準監督署第一課長・原田竜雄氏
- 問い合わせ 市商工観光課(☎22-4111)へ

大島みかん狩りと

みかんの木3本が当たる

くじ引き大会

- 期日 12月10日(日)
- 行程 市民会館小ホール前(午前8時集合)～防府東IC～熊毛IC～大島安下庄～熊毛IC～市民会館(午後5時30分帰着予定)
- 募集人員 120人(先着順)
- 参加料 大人6,800円 身障者・子ども6,000円
- 申し込み 市交通局(知事登録国内旅行業第44号☎22-2555)へ

おやこワープロ教室

- 日時 11月26日(日)午前9時30分～午後2時30分
- 場所 山口市働く婦人の家(湯田温泉五丁目1-1)
- 対象 小学生と親(親1人に子ども2人まで可)
- 定員 親子5組まで(先着順)
- 内容 簡単なワープロ操作と年賀状・クリスマスカードの作成
- 受講料 2,060円(テキスト代および2人分の昼食代)
- 持参品 印刷用はがき、筆記用具
- 申し込み 11月24日(金)までに、電話で山口市働く婦人の家(☎21-1929)へ

児童館特別講座

～手づくり年賀状～

- 日時 11月28日(火)・29日(水)午後3時30分～5時(2日間)
- 場所 市児童館2階講座室(下堅小路254)
- 対象 小学1年生～3年生
- 会費 100円
- 定員 30人(先着順)
- 持参品 はさみ、セロテープ、えんぴつ、消しゴム、平成8年用年賀はがき2枚
- 申し込み 11月20日～22日の間に、市児童館(☎28-8656)へ

県民大学講座

古文書入門講座(初心者)

- 日時 平成8年1月23日(火)～3月5日(火)の毎週火曜日、午後1時30分～4時30分
- 場所 山口県生涯教育センター(県教育会館3階)
- 内容 毛利家文庫「聞書」「講録」を読む、絵草子に見る周防国一「比奈乃都大内譚(ひなのみやおおうちものがたり)」など
- 受講料 2,000円(資料代として)
- 募集人員 50人(応募者多数の場合は抽選)
- 対象 一般成人で初心者に限る
- 申し込み 往復はがきの往面に住所・氏名・年齢・性別・電話番号・講座名を、復面に郵便番号・住所・氏名を記入して、12月15日(金)までに山口県生涯教育センター「古文書入門講座係」(大手町2-18☎23-3325)へ

募集コーナー

歯科衛生士学院学生募集

- 出願期間 1次募集 11月24日～平成8年1月16日
- 試験日 平成8年1月20日(土)・21日(日)
- 試験科目 国語1・適性検査・面接
- 募集人員 50人
- 修業年限 2年
- 受験資格 高校卒業および卒業見込みの女子
- 問い合わせ 山口県歯科衛生士学院(吉敷3238☎28-8028)または最寄りの歯科医院へ

市臨時職員(保母)の登録募集

- 市では、保母の臨時職員を希望される人に前もって登録していただき、欠員などがある場合、必要に応じて雇用します。
- 申し込み 履歴書に自筆で記入し、写真を貼り、押印して市児童家庭課へ持参してください
 - 資格 保母資格のある人
 - 問い合わせ 市児童家庭課(☎22-4111)へ

市長への手紙・FAX受付ます
市では、みなさんの意見を市政に反映させるため、「市長への手紙」提案箱を市役所1階の市民相談室、各公民館に設置しています。また、ファクスによる「市長への手紙」も受け付けていますので、お気軽にご意見やご提言をお寄せください。
FAX 0839-24-8761

音声・FAX情報サービス 電話ガイド

やまぐちお茶の間市役所

市役所への届出や各種手続きの方法、施設の利用案内など暮らしに役立つ情報を、フリーダイヤルでご案内します。詳しくは、10月1日号の市報と一緒に配布しました、電話ガイド『やまぐちお茶の間市役所』をご覧ください。

☆フリーダイヤル

0120-00-6603

来春の入園児を募集 (保育園)

◇入園できる乳幼児

乳幼児の保護者、同居の親族のいずれもが仕事をもつていたり、病気などの理由で乳幼児の保育ができない家庭に限りません。この場合でも、同居、別居を問わず、他の人で乳幼児の保育ができる場合は除きます。

◇案内書・申請書の配布

11月20日(月)から、市児童家庭課・各保育園で

◇申請書の受け付け

12月1日(金)・4日(月)・5日(火)の午前10時～午後3時の間に、市児童家庭課へ

◇保育園とその所在地

山口(旭通り一丁目)、東山(東山一丁目)、大内(高芝、陶(丸尾)、楠木(楠木町)、三の宮(芝崎町)、山口第二(三和町)、嘉川(岡屋、嘉川三つ葉(免地)、佐山(小路)、乳児(大手町)、湯田(今井町)、平川(台)

◇問い合わせ

市児童家庭課(☎22-4111)へ

電話加入権の公売

市では市税・国民健康保険料の滞納により差し押さえた電話加入権を入札により公売します。

○日時 11月29日(水)午前10時から

○場所 市役所2階第2会議室(入札開始時間)

○持参するもの 印鑑・身分証明書(運転免許証など)・入札予定金(5万円以上・別途消費税)

○公売する電話加入権 3件
○問い合わせ 市収納課(☎22-4111)

※ご希望の方は、入札に際し注意等がありますので、午前9時40分までに入札してください

※本人以外の方が入札する場合は、委任状が必要です
※市税等の納入により、当日公売を中止する場合もありますので、ご了承ください

健康コーナー

乳幼児特別クリニック

- 期日 12月4日(月)
- 受付時間 午後1時~2時
- 場所 山口環境保健所(葵二丁目5-69)
- 対象 発育・発達について心配のある乳幼児
- 申し込み 山口環境保健所保健指導班(☎22-5111)へ(予約制)

ツベルクリン反応検査・BCG接種

- 期日 ツベルクリン反応検査…12月12日(火) BCG接種…12月14日(木)
- 場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)
- 受付時間 午後1時30分~2時30分
- 対象 生後3か月~4歳未満の者で、BCG接種をまだ受けていない者または再検査者(今回は北部地区の方が対象です)
- 料金 無料(母子健康手帳、体温計持参)
- 申し込み 市健康増進課(市保健センター/☎21-2666)へ
- ※予約制になりますので、事前に電話で申し込んでください
- ※以降の接種予定は7月15日号の市報にまとめて掲載してありますので、あわせてご覧ください

催し物とお知らせ

最低賃金周知旬間(11月21日~30日)

- 『守ってネ 時間・約束・最低賃金』
- 山口県最低賃金 1日4,674円・1時間585円
- 効力発生の日 平成7年10月1日

第21回山口市家庭婦人バレーボール大会

- 日時 12月10日(日)午前8時30分から
- 場所 山口県スポーツ文化センター
- 対象 市内在住の既婚の家庭婦人および35歳以上の独身女性
- チーム編成 監督・コーチ・マネージャー各1人、選手15人以内
- 参加料 1チーム 1,000円(大会当日、受付で徴収)
- 監督者会議 12月6日(水)午後3時から市役所第8会議室(別途通知はしません)
- ※スポーツ安全協会損害保険に未加入の選手はできるだけ加入のこと(1団体5人以上、1人1,300円、申し込みは体育課へ)
- 申し込み 12月4日(月)までに、市教育委員会体育課または各公民館備え付けの申込用紙で、直接同課へ
- 問い合わせ 市教育委員会体育課(☎22-4111/夜間☎22-0285)へ



就学説明会のご案内

- 日時 11月21日(火) 午後2時~3時30分
- 場所 市役所第10会議室
- 内容 山口市における特殊教育の実状、特殊学級設置校特殊担当教員の説明(小学校4校・中学校2校)、質疑
- 問い合わせ 市教育委員会学校教育課(☎22-4111)へ
- ※個人的に相談のある方は、全体会后に受け付けます

“日本のうたと&スペインのうたと”コンサート

- 日時 11月26日(日)午後2時開演(午後1時30分開場)
- 場所 県立図書館レクチャールーム
- 内容 日本の子どものうた(七つの子・赤とんぼほか)・抒情歌・スペインのうた・ピアノ独奏
- 入場料 無料
- 主催 M.G.I.F山口の会、山口市国際親善市民の会

白石小鯖線開通

現在、白石地区において工事中の、都市計画道路白石小鯖線(県道山口防府線)の国道9号交差点から県立山口高等学校までの約450m区間が、11月30日(木)に開通することになり、午後3時から供用開始される予定です。

ルーラル315・376フェスタ

- 期日 11月18日(土)・19日(日)
- 場所 国道315・376号沿線
- 内容 沿線20箇所の朝市での販売・交流、スタンプラリーなど
- ◆仁保井開田では、ハーブ苗木市やあたたかいソーメンの無料立食、ルーラル楽市を開催
- 問い合わせ 市農政課(☎22-4111)へ

救難ネットワーク

コスモスの会定期講習会

- 日時 11月24日(金)午後7時~9時
- 場所 県身体障害者福祉センター研修室(八幡馬場36-1)
- 内容 人権とやさしい法律
- 講師 法務局職員 有吉 清氏
- 参加費 無料
- 問い合わせ
 - ・大庭晴子(☎32-6855)
 - ・河村勝正(☎24-1637)
 - ・堀田秀樹(☎28-0542)へ

編集後記

▽朝夕は、一段と寒さが増し、本格的な冬のさざしを感じる時節となりました。山や街路の樹木もいっせいに紅葉が深まり晩秋を感じる今日この頃です。

▽十一月十一日から、同和対策推進旬間が始まりました。旬間にちなみ、県、市でもこの問題に関する詩、スローガン、ポスターなど掲載し、啓発に努めました。環境等の整備は着実に進展しつつありますが、今後は教育面を重点に推進し、一日も早い同和問題の解決が望まれます。

12月の不燃物収集日

1日(金)	嘉川
4日(月)	佐山
5日(火)	下金古曾・一本松・木町・新馬場・相物小路・松の木町・銭湯小路・久保小路
6日(水)	陶・鑄銭司
7日(木)	米屋町・野田・大殿大路・上古熊・御局小路・太刀売・大市諸願
8日(金)	名田島・秋徳二島
11日(月)	西朝倉・西惣太夫・角下市町・熊野
12日(火)	大内
13日(水)	今道・大附・今市・道祖町・下堅中下・上堅小路・田町
14日(木)	平川
15日(金)	八幡馬場・荒高・天花・円政寺・古熊・湯屋町・堂の前
18日(月)	石観音・泉町・天神通り・東滝・西白石・西糸米・元町西
19日(火)	中市・仁保
20日(水)	上後河原・(上・中・下)清水・中讃井・三和町・西滝・元町
21日(木)	小鯖・新橋・西門前
22日(金)	吉敷
25日(月)	下堅上・東糸米・東白石・中河原・下後河原・中後河原
26日(火)	宮野
27日(水)	今小路・新天街・新道・新町・新丁・早間田・(上・中・下)道場門前・竜王町
28日(木)	大蔵
29日(金)	東朝倉・東惣太夫・朝倉中央・上金古曾・鰐石・嘉川
30日(土)	

市民無料法律相談

○日時 11月22日(水)午後1時半(1時受付開始)

○場所 白石公民館

○相談内容 日常生活での法律の問題に関すること

○相談員 弁護士

○問い合わせ 市広報広聴課市民相談室(☎22-41)

※行政相談は、市民相談室、行政監察事務所(☎22-11590)で常時受け付けています。

※ご相談に際しては、詳しい書類(登記、契約書など)を持参してください。

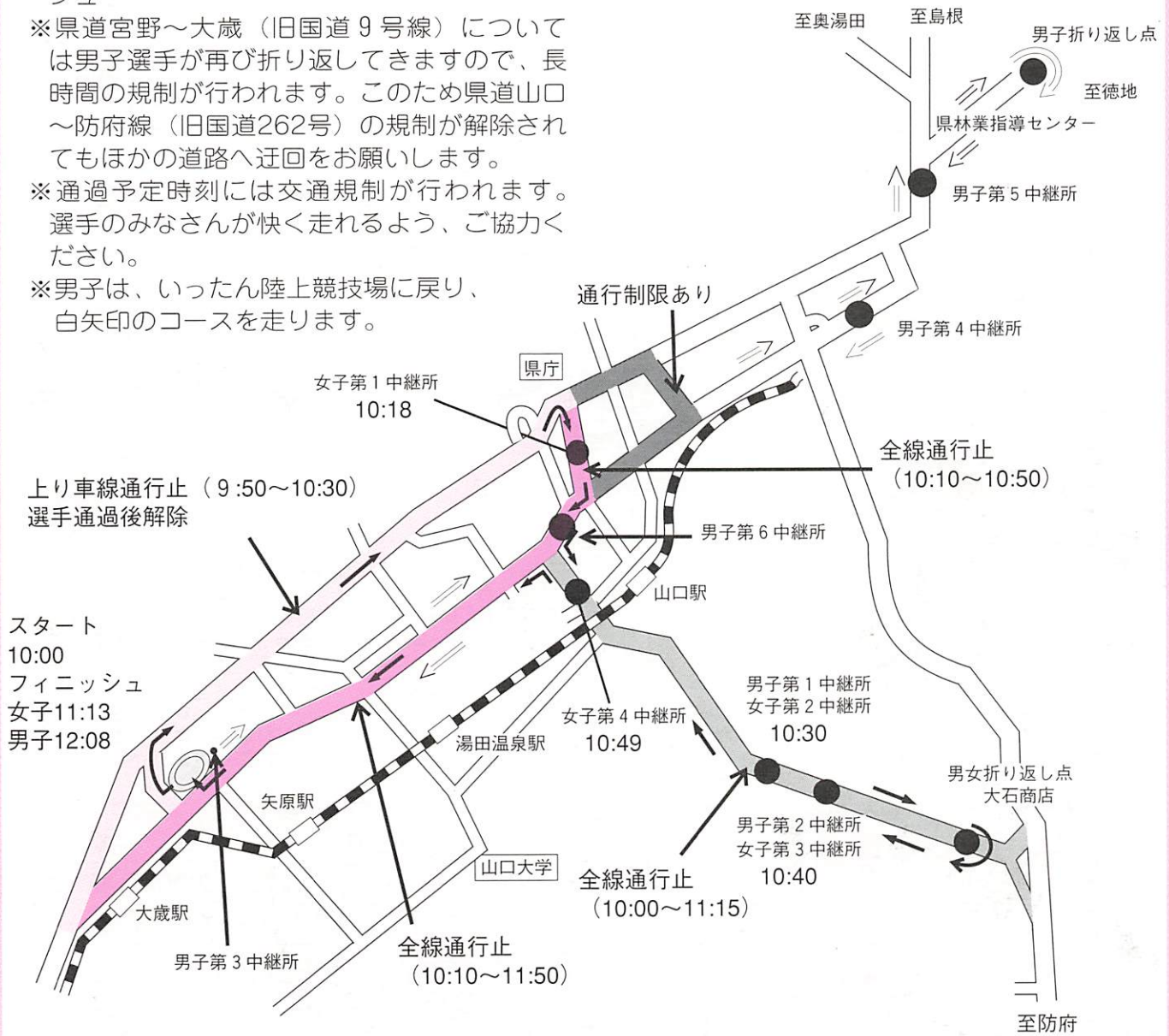
男子 第37回中国高等学校駅伝競走大会 女子 第9回中国高等学校駅伝競走大会

- ◆期日 11月26日（日）
- ◆時間 男子：10：00スタート
女子：10：05スタート
- ◆場所 山口循環ハーフマラソンコース 維新百年記念公園陸上競技場スタート・フィニッシュ

※県道宮野～大歳（旧国道9号線）については男子選手が再び折り返してきますので、長時間の規制が行われます。このため県道山口～防府線（旧国道262号）の規制が解除されてもほかの道路へ迂回をお願いします。

※通過予定時刻には交通規制が行われます。選手のみなさんが早く走れるよう、ご協力ください。

※男子は、いったん陸上競技場に戻り、白矢印のコースを走ります。



国民健康保険 被保険者証の更新

現在お使いになっている国民健康保険被保険者証・退職被保険者証は、平成七年十一月三十日で有効期限が切れます。これにともない、次のとおり被保険者証の更新を行います。

- ◆ 更新の時期
十一月十三日～三十日
- ◆ 新しい被保険者証の色
・一般：うぐいす色
・退職：ピンク色
- ◆ 更新の方法
・納付組織（国保推進員扱い分を含む）に加入している人は、お世話の方を通じてお届けします。その際に旧被保険者証をお返しください。

納付組織に加入していない人は、原則として被保険者証を郵送します。旧被保険者証は、市役所保険年金課または最寄りの出張所へお返しください。

※老人福祉施設入所等により、遠隔地被保険者証が必要な方は、市役所保険年金課または最寄りの出張所へ申請してください。

○問い合わせ 市保険年金課
(☎22-4111)へ